

年 新 賀 謹



富士見町議会議長

植 松 米 作

新春を迎え、町民の皆様にご心からお喜び申し上げます。

私も16名の議員は、町民憲章の理念を基に活動できましたのも、町民皆様のお陰であり、深く感謝申し上げます。

さて、昨年執行された諏訪地域6市町村合併の民意を問う住民投票の結果を厳粛に受け止め、「将来、子や孫達のために、何を残してやるべきか。」その責任の重大さを胸に「しっかりしよう。」と決意を新たに新年を迎えました。

これからは、「自己決定、自己責任、自己負担」という分権改革の新しい時代を迎えました。

江戸時代、上杉鷹山が提唱した「今、異状事態という冷え切った灰の上に居る。しかし絶望するな。ひとり一人が足元の灰を掘れ。そこには消えない火種がある筈だ。それを探し出して自分の胸の中にある黒い炭に移し、その灰を吹きだてろ。」という有名な火種運動がありました。未曾有の苦難を乗り越切ったという。一人でなく皆が分担し責任を持って地域の暮らしを築いていくことです。今こそ、「ふじみの火種」を見つけ、「新しいまちづくり」を進めましょう。町民皆様のご健勝を御祈念申し上げます。